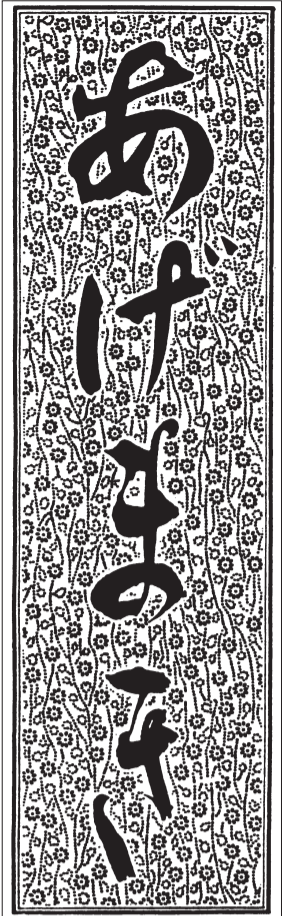


120年の伝統と誇り

～母校の未来に思いをはせて～



題字 加藤秋蔵先生
秋田市千秋中島町8-1
県立秋田北高等学校 会
同窓会 発行
あげまき 会
印刷 (株)三戸印刷所

伝統を磨き次世代につなぐ心

会長 樋口ルミ子(高18回)



二〇二一年の秋涼爽快の候、秋田北高等学校は創立百二十周年の輝かしい記念の日を迎えました。同窓生一同心よりお祝い申し上げます。

母校の体育館において記念式典はご来賓に祝福され厳粛に行われました。続いて橋本五郎氏の講演が行われ、遠方からも出席した同窓生は生徒や保護者と共に熱心に拝聴いたしました。新型コロナウイルス感染症防止のため式典の参加者を制限され祝賀会も行われず、残念な思いもございました。

記念事業の一つでもあります同窓会名簿は昨年六月に完成。購入数は二八〇冊余と好評をいただきました。お買い上げいただいた会員、名簿作製賛助金へ協力くださったり、広告の掲載に快く応じていただきました皆様にお礼申し上げます。記念誌も係りの方々と皆

様のご協力で立派に出来上がり、式典後皆様のお手元に届けたいとしました。今年三月から十月迄の記念事業協賛金の募金につきましては、あげまき会員の皆様には格別のご理解とご協力をいただきました。お陰をもちまして募金も目標額を超えました。これまで同窓会は創立の周年行事を迎えたいお祝いとして母校に、ピアノ、ミシン、卓球台

体操用マットなど贈呈して後輩たちの教育に役立てていただいております。このたびの百二十周年記念のお祝いに体育館のステージ幕一式を寄贈し、今年三月のあげまき会入会式で皆様にお披露目いたしました。校長先生はじめ母校の諸先生のご指導のもと私達もひと役を担い、節目の式典、関連行事を滞りなく終了することができました。

文のはやし

校長 永井元



北帰行
風に向かひて
飛ぶ白鳥
異動内示の
我と重なる

異動の内示を受けたその日、見上げた空を北に向かう白鳥の一群がありました。その時の思いを

詠んだものです。戸惑い、緊張、敬い、畏れなどの思いが複雑に入り交じった心もようでした。本県で五番目に長い歴史と連綿と紡がれた豊かな伝統に満ちた北高で、果たして、務まるのだからかと不安も募りました。四月に入り、そのような心の混沌は、あげまき会のみなさまのあたたかい心遣いにより、次第に和らいでいきました。本校

での勤務経験のない私に、懇切に教えていただき、また、相談にも応じていただいたことに感謝しております。創立百二十周年にあたる年に校長として巡り合わせたことも光栄に感じております。あわせて、これまで誰も経験したことのないコロナ禍での記念事業にあたっては、多くの制約や配慮が求められる中、現下の情勢に対するみなさまの深い御理解と手厚い御協力により進められてきたことにも厚く御礼申し上げます。

ご存じの通り、校舎の内外には、多くの書画や石碑がありますが、校長室には、大正十一年(一九二二)に本校を卒業した八郎瀧町出身の書家、天野翠琴による「あげまきのうた」の一番が掲げられています。あげまき会総会で唱和され、みなさんの心の支えになっていることを強く感じました。私は、このうたの中の「文のはやし」という言葉が好きです。「文」とは学問のことを指すものでしょうし、学問とは、学んで問うことですから、

学ぶことや問うことの大切さにも通じることと捉えています。この千秋中島の地で、学びを深めたそれぞれの時代の風景を思い描いてみると、真剣なまなざしで日々学業に励み、生涯にわたって生きる力を培い、醸成していく、ひたむきな生徒の姿が浮かんできます。

みなさんに長く歌い継がれるこのあげまきのうたを詠む時、より善く生きる生徒を育てる使命の重さを強く感じる毎日であります。

祝 百二十周年



令和3年10月16日
2、3面に
特集記事掲載

総会報告

利根川 久子
(高28回)

秋田北高卒業生の同窓会あげまき会総会は、この何十年の間続けて行われ、恩師の方々や会員の皆様と歓談するひとときは、心暖まりかつ楽しみの会として続けられておりますが、昨年度から様子が変わってまいりました。コロナ感染が全世界で広がると同窓生が集まって旧交を温めたり、新たな交わりを結ぶという楽しみも気楽には行えない日々となっております。先輩方のご意見を伺いながら役員で協議を重ねました結果、あげまき会関係行事の開催は中止、あるいは規模を縮小して行うとの結論にいたしました。秋田北高の校歌をコロナの嵐を切り抜けた日、あげまき会の皆様とご一緒に声いっばいに歌いたいと痛切に望んでおります。

在校生の皆様には開校の精神を思い起こし、誇り高い歴史の中から多くを学びとって、古きよき伝統を磨き、大いなる飛躍を期待いたしております。私達同窓生は心から声援を送り、常に前向きな協力をしたいと思いますのでございます。

令和三年度あげまき会総会が、七月十一日、秋田キャッスルホテル矢留の間において二年ぶりに開催された。感染防止対策のため規模縮小となり出席者六十三名であった。高畑恵子さん(高28回)の司会で、吉村副会長が開会のことば、マスク着用し校歌斉唱、同窓会ゆかりの方々には黙祷を捧げ、会長のご挨拶、校長先生のご挨拶と進んだ。樋口ルミ子会長は、コロナ禍でもあげまき会総会を開催できたことへの感謝と、母校創立百二十周年記念「会員名簿」の

発行、記念事業として体育館ステージ幕の寄贈について述べられ、これからもあげまき会は母校の発展と会員の親睦に努めていきたいと話された。永井元校長先生は、今年度学校行事は規模縮小して滞りなく実施されていること、全校生徒七百名が元気に学校生活を送っていることや四月に十二本だった優勝旗が十五本に増えたことについて話された。

議長は、後藤裕子議長(高28回) 浅野輝美副議長(高41回)の進行により、令和二年度会務・決算・会計監査報告、令和三年度事業計画・会計予算が、原案通り承認された。また、永井毅総務主任から、創立百二十周年記念式典は十月十六日に規模縮小しての開催を予定していることや、記念誌の作成が順調に進んでいることなどが話された。新聞「あげまき」は記念式典の様子を載せて十二月上旬に「第29号」が発行されること、また「あげまき講座」は現在調整中のためあげまき会ホームページでお知らせすること等、それぞれの担当から話された。

最後に、「あげまきの歌」を全員で斉唱。吉村副会長の閉会のことばで約一時間の総会が幕を閉じた。

お知らせ
令和四年度あげまき会総会は七月十日(日)十時、秋田キャッスルホテルにおいて開催の予定です。



総会風景



あげまき会 役員名

(令和三年・7・11現在)

顧問	名譽会長	参与	会長	副会長	評議員	監査員
三浦貴美子	永井元	由利イセ	樋口ルミ子	吉村比佐子	後藤幸子	室田かをる
		小泉智子	最上智子	青山恵子	三浦マリ子	柴田珠子
				菅道子	菅道子	室田かをる
				浪岡輝子	浪岡輝子	室田かをる
				川辺昌子	川辺昌子	室田かをる
				加賀成威功子	加賀成威功子	室田かをる
				高橋久美子	高橋久美子	室田かをる
				近江美保子	近江美保子	室田かをる
				奥田多喜子	奥田多喜子	室田かをる
				蛭田庸子	蛭田庸子	室田かをる
				中泉幸子	中泉幸子	室田かをる
				竹屋壽代	竹屋壽代	室田かをる
				磯谷栄子	磯谷栄子	室田かをる
				佐藤加代子	佐藤加代子	室田かをる
				三浦雅絵	三浦雅絵	室田かをる
				佐藤了子	佐藤了子	室田かをる
				岡松文子	岡松文子	室田かをる
				奈良康子	奈良康子	室田かをる
				佐藤忍	佐藤忍	室田かをる
				相楽郁子	相楽郁子	室田かをる
				新堀文子	新堀文子	室田かをる
				室田かをる	室田かをる	室田かをる
				室田かをる	室田かをる	室田かをる
				室田かをる	室田かをる	室田かをる

120周年

令和3年10月16日



創立百二十周年記念式典

日時 令和三年十月十六日(土) 午前10時
会場 本校第一体育館・第二体育館

次 第

修 物 故 者 黙 禱 礼	祝 電・祝 詞 披 露	来 賓 祝 辞
開 式 の 言 葉	表 彰	祝 電・祝 詞 披 露
国 歌	生 徒 代 表 挨 拶	祝 電・祝 詞 披 露
校 長 式 辞	校 歌	祝 電・祝 詞 披 露
実 行 委 員 長 挨 拶	閉 式 の 言 葉	祝 電・祝 詞 披 露
あ げ ま き 会 会 長 挨 拶	礼	祝 電・祝 詞 披 露

表 彰

【功 労 賞】

あ げ ま き 会 歴 代 会 長

樋 口 ル ミ 子

あ げ ま き 会 評 議 員

(現 役 員 十 五 年 以 上)

浪 岡 輝 子

青 山 恵 子

磯 谷 栄 子

佐 藤 加 世 子

「歴史・絆・未来」
前校長 木浪 恒二



秋田北高創立百二十周年おめでとうございます。創立記念日である十月十六日に挙行された記念式典に出席させていただきました。式典は本県を代表する伝統校にふさわしい厳かな空気に包まれました。特に、生徒会長の館岡青楠さんによる挨拶は、呼名された際の凛とした返事にはじまり、「知性・品性・感性」を体現した素晴らしい内容の挨拶でした。また、橋本五郎氏による御講演後の質問では、多くの生徒の手が挙がり、北高生の探究心の深さを感じることができました。控え室に戻られた橋本氏も、「これほど沢山の質問は珍しい。難しい質問も多かったが、それだけ私の講演内容を深く考えながら聞いてくれたこと」と大変喜んでおられました。さて、武道の言葉に「千日の稽古を鍛とし、

記念講演

演 題 「ジャーナリストへの一本の道」



講師 橋本 五郎 氏

講師プロフィール

現役職：読売新聞特別編集委員
略 歴：1946年 秋田県琴丘町(現・三種町)生
1970年 慶應義塾大学法学部卒業後、読売新聞入社
2004年 東京大学経営協議会委員
2005年 NHK中央放送番組審議会委員
2006年 読売新聞特別編集委員(～現在)
2012年 東日本大震災復興構想会議委員
2014年 日本記者クラブ賞受賞



ジャーナリストへの一本の道

記念講演は、むつみ会会長による講師橋本五郎氏の紹介から始まりました。

橋本氏は、講演のテーマを決めた理由、新聞記者を志したきっかけ、ご自身が新聞記者を続け

万日の稽古を鍛とす」という言葉があります。これは、厳しさの中で力強く鍛え上げる「鍛」。絹糸のように繊細で完成度の高いものを作り上げる「練」。長い年月を費やすこの過程は「鍛練」と言う二文字で表現されています。まさに、北高の歴史は、あげまき会の皆様との絆が百二十年の長きにわたり積み上げた「鍛練」の結晶とも言えます。百三十年に向かう在校生は、この結晶(歴史)をまもるだけでなく、絶えず自分たちの力で創造す

ていく上で大切にしている事について、身近な例を挙げながら簡潔明瞭に話を進められました。さらに、ジャーナリストに必要な三つの要件、お互いを認める「健全な相対主義」、自分は正しいのかを自問自答する「適度な懐疑主義」、物事を鳥瞰的にとらえる「鳥の目」と注意深く見る「虫の目」を持つことが重要であると述べられました。

そして、これからは自分なりの夢を描いてそれを実現するための努力が必要だと生徒にエールを送られました。最後に、「ご母堂の「仕事に全力を尽くさない。傲慢にならず謙虚であること。人のいいところを見なさい。」という言葉に胸に刻んでいると結ばれました。



生徒代表あいさつ

生徒を代表して生徒会長の館岡青楠さん(三二年)から、コロナ禍にあっても積極的に挑戦、工夫して困難を乗り越えてきた北高生の、文武両道にわたる活動・活躍の様子が紹介されました。

そして、「校歌に歌われているように、『あげまきの解けぬがごとく』堅く結ばれた絆と誇りを生徒・先生方・同窓会の皆様・保護者の方々とともにいつまでも持ち続け、発展させることをお約束いたします。」と力強く語りました。

十年のあゆみ

● 母 校 ○ あげまき会

- 2013年 (H24) ○ あげまき会総会会場を秋田キャンパスホテルに移す
○ 「あげまき講座」は、在校生の「北の文化教室」を共に鑑賞する
○ 総会において、吉村比佐子(高17回)が副会長に選出される
○ 会長・副会長二名は再選
○ あげまき会設立百十周年
○ 会員数は三万三千人を超す
○ 母校に新体操公式マットを寄贈
○ 総会において、樋口ルミ子(高18回)が会長に選出される
○ 最上智子(高12回)が参与に選出される
○ 青山恵子(高20回)が副会長に選出される
○ 共学一期生(高63回)で社会人一年目の男性が総会に参加
○ 高体連事務局校となる
○ あげまき会からの情報「新聞あげまき」を含めて北高ホームページから閲覧できるようにする
- 2017年 (H28) ○ あげまき会入会記念品を、革製キーホルダーに変更
○ 総会において、三浦マリ子(高23回)が副会長に選出される
○ 会長・副会長(二名)は再選
○ 第51回全国国語教育研究大会公開授業研究会会場となる
○ 探究活動等実践モデル校事業公開研究会を実施
- 2018年 (H30) ○ 共学十一年目、会員数三万五千人を超す
○ 秋田大学と高大連携協定を締結
- 2019年 (R1) ○ 新型コロナウイルス感染防止のため、四月二週目より五月上旬まで休校措置をとる
○ 全教室にエアコン設置
○ 母校創立百二十周年記念としてあげまき会「会員名簿第五十五号」刊行
○ 母校に体育館ステージ幕一式を寄贈
○ 新型コロナウイルス感染防止のため、役員会を書面により実施、総会は中止とする
○ 一学年の募集定員二百二十八名(六学級)となる
- 2020年 (R2) ○ 全教室にWi-Fiが設置され、生徒全員にタブレット支給
○ 新型コロナウイルス感染防止のため、総会を規模縮小し開催する
○ 創立百二十周年記念式典を挙行、記念講演会を開催
○ 式典で功労賞の表彰を受ける
○ 「秋田県立秋田北高等学校創立百二十周年記念誌」発行
○ 新聞「あげまき」第二十九号・創立百二十周年記念特集号発行(本号)

在宅療養支援診療所 胃腸科・外科・内科・肛門科
入院施設あり

山王胃腸科

院長 最上希一郎

秋田市山王二丁目1-49 ☎018(862)5211(代)

中道歯科医院

院長 中道 敦子 伸 関 谷

秋田市土崎港中央六丁目12-15
(土崎小学校通り)
☎ 018(846)8181

内科、外科、消化器内科、消化器外科、泌尿器科
医療法人 和光会

共立クリニック

(院長：佐藤 敬文)

診 療	平 日/午前9:00~12:00 (木曜以外)午後2:00~6:00
時 間	木・土曜/午前9:00~13:00 休 診 日/日曜

TEL 018-833-6651
秋田南通電の町14番23号

INNOVATION THAT EXCITES

クルマでつなげる みんなの未来

秋田日産

http://ni-akita.nissan-dealer.jp/
〒011-0908 秋田市内大小路208-38 TEL.018-880-5873 FAX.018-846-1054

秋田県立秋田北高等学校

祝 創立



校歌

作詞 尾上 八郎
作曲 岡野貞一

一、太平の山の崩れず
九川絶えぬが如く
我等若人 励み合ひ
強く勉めむ

二、師の君の教たがへず
あげまきの解けぬが如く
我等若人 睡み合ひ
明るくあらむ

三、そのかみの心忘れず
矢留城聳つ如く
我等若人 諫め合ひ
正しく生きむ

昭和七年制定
平成二十年 一部改訂

コロナ禍の学校行事

副校長 武蔵 美佳



2020年、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、いまだコロナ終息のめどは見えておりません。

この二年間、多くの学校行事が中止、もしくは規模縮小を余儀なくされました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和二年四月から五月にかけて、約一か月間、臨時休業となり、感染防止のため、五月の運動会と六月の合唱コンクールは中止せざるを得ませんでした。そのような中、北高祭は、感染防止対策を徹

底し、規模を縮小して、クラスPR動画コンテンツという形で七月に実施することができました。限られた条件下でできることは何か、どうすればできるかということを主体的に考え、困難を乗り越えようとする北高生の姿に、自ら未来を切り拓く逞しさを感じました。

記念事業を終えて

実行委員長 堀井 潤



秋田北高が創立百二十周年を迎えるにあたり、実行委員長を務めることとなり、十月十六日記念式典が開催されました。この記念事業に対し、あげまき様には多くのご支援とご協力を賜り、改めて感謝と御礼を申

令和三年度は、運動会・合唱コンクール・北高祭いずれも生徒のみの参加ではありましたが開催することができました。工夫次第で学校行事がより充実したものになることを生徒が教えてくれたように思います。

コロナ禍の中、現在も学校生活の様々な面で制限がありますが、生徒は切磋琢磨しながら何事にも前向きに取り組んでおります。北高生の聡明さと明るくのびやかな気が

上げます。コロナ禍で開催が危ぶまれた中、お招きすべき方を絞り込み、校歌も音声のみと制約があり、同窓生の皆様には満足できる式典とはならなかったかもしれませんが、橋本五郎氏の記念講演では生徒からたくさん良い質問が飛び交うなど、良い記念式典であったと感じております。祝賀会ができたらと改めて思いました。秋田北高は、我が家の二階から校舎を眺めるご近所でありながら、むさ苦しい男子が簡単に

風は、創立時も百二十年経った今も変わっていないと思います。これからも「知性、品性、感性」を求める伝統を受け継ぎながら、学校の活性化を一層推し進めていきたいと考えておりますので、会員の皆様様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



運動会 R3.5.12 ソコスタジアム(八橋陸上競技場)



合唱コンクール R3.6.28 秋田市文化会館

事業報告

副会長 吉村比佐子

創立百二十周年記念事業は、令和元年夏に準備委員会が発足し、実行委員会を経て「あげまきの歴史」とけね絆 つむぐ未来」をキャッチフレーズに実施されました。

・式典は本校第一体育館を主会場に、一部在校生が第二体育館で映像参加となりましたが、約八百五十名参列のもと厳粛に行われ、引き続き記念講演がありました。

・祝賀会は中止。

・会員名簿は第五十五号(A四判、五百七十六頁)を昨年六月に二千八百三十八冊発刊しました。男子会員が初めて掲載された名簿です。

・記念誌は百十周年以降の部活動記録やあげまき会記録などが、三十五頁に凝縮された内容となっております。

・募金はあげまき会・むつみ会・あさひ会・教職員のご協力で、目標金額一千万円を超えました。

・あげまき会周年事業積立金より、体育館ステージ幕を寄贈しました。



寄贈したステージ幕

県外支部より

東京支部

支部長 横川 益子 (高23回)

百周年を迎えて二重に喜ばしい年となりました。従来母校の記念の年に「東京だより」を発行して参りまして、今年も第八号を発行致しました。記念誌は改めて母校への深い思いに繋がりました。

本年度東京支部は設立

祝

東京支部設立百周年
おめでとうございます

北海道支部

支部長 後藤 美井 (高16回)

本校創立120周年おめでとうございます。例年以上に暑かった夏も終り秋風がさわやかな季節となりました。

岩手支部

支部長 三田 享子 (高18回)

『創立百二十周年』何と厳かで素晴らしい響きでしょう。この祝賀は輝く未来への新たな一歩です。

宮城支部

支部長 熊谷ひろみ (高18回)

母校創立百二十周年おめでとうございます。あげまき会の歴史と伝統の重さを感じます。宮城支

関西支部

支部長 岡 和子 (高5回)

秋田北高創立百二十周年おめでとうございます。あげまき会関西支部は会員の高齢化と、コロナ

●変わらぬ味に 真心こめて

秋田銘菓 金萬

秋田市中通2-3-8 アトリオンビル 8階
☎018-832-6789

慶弔引出物・記念品

稲庭うどん各種・お中元お歳暮ギフト

おうち (株)桜竹

秋田市将軍野南四丁目1-12
店舗: TEL. 018-846-4912

年中無休

営業時間

AM9:00~PM5:30

TEL. 018-846-4888

FAX. 018-847-1667

新時代のオフィスプランナーとして

株式会社 マルシ

代表取締役 進 藤 文 仁

秋田市泉南1丁目2-4 http://www.malushin.co.jp

TEL 018-863-3455(代) FAX 018-862-0411



勝月

本店/秋田市保戸野通町 TEL 018 (862) 3045

あげまきオリンピック
小野清子さん(高橋)を
ご存知ですか?

世界的な新型コロナウイルス禍により一年延期となった「東京二〇二〇五輪・パラリンピック」が今年七月、八月開幕。厳重な感染防止対策・原則無観客等々異例づくめではありましたが、連日の映像には多くの感動の場面が映し出されました。さて、小野清子さんといえば、体操の「あげまきオリンピック」ですね。北高では体操部に所属、インターハイや二度の国体など各種大会で好成績を収めます。現筑波大学進学後もさらにレベルを上げていきます。

出場。一九六四年東京五輪団体銅メダル。(体操女子団体で日本史上唯一のメダル)この時、二児の母であったことにも称賛の拍手が送られました。



教頭 高田屋 馨

今年四月に赴任いたしました。平成十九年度から平成二十五年度まで勤務しており、七年度は北高となり、七年振りの北高となりました。

母校は今

された県高校総体が、今年二年ぶりに開催され、六競技が全国高校総体育大会への出場権を獲得し、和歌山県で開催された全国高校総合文化祭には四つの部活動が参加しました。

校長室には、おそろく全県でナンバーワンの十五本の優勝旗が飾られています。

また、昨年度は国公立大学の合格者が過去最高になり、正に文武両道を内外にアピールできた一年となっております。今後も更なる発展を目指し、全校一丸となって取り組んで参ります。

北まき

追悼 湊 則子様

参与 由利 イセ (高5回)

湊則子さんが会長、私と小泉さんが副会長になったのが、平成十四年から二十年までの七年間です。この間、最初に起きた印象深い問題に女子校である母校を、男女共学校にするという県教委の方針への対処でした。

学校とも協議の上、湊会長を先頭に私共関係者が県教委に女子校継続を陳情に出向きました。しかし結果的には、平成二十年から共学制は実施に決まります。

この問題は、数年前から母校関係者の一大課題で、女子校として校舎改築を求める請願書を県議会に提出してきた背景があります。

湊則子さんは、奈良女子大を卒業後、母校の数学教師になり、結婚と同時に現在の聖霊高校に転任し、数学や生徒指導に当ってこられ、そこで退職を迎えられました。特別に在職の後半には、上司や同僚の信任も厚く、教頭として校内のまとめ役を努められました。当時同職した方のお話では、校内会議が午後八時を過ぎることもある程の激務と、家事を両立させていた共働りでした。



母校創立110周年記念祝賀会にて 役員の皆さんと共に(右から3人め)

全国大会出場記録

- 令和3年度全国高等学校総体育大会(北信越総体)
○ソフトボール部 7月25日~7月31日 福井県
○ソフトテニス部(女子団体・個人) 8月2日~8月4日 石川県
○剣道部(女子団体・個人) 8月9日~8月12日 石川県
○新体操部(団体・個人) 8月17日~8月22日 新潟県
○バドミントン部(女子団体・個人) 8月7日~8月13日 富山県
○水泳部 8月17日~8月20日 長野県
□男子個人 100mバタフライ
□女子個人 100m・200m平泳ぎ

第45回全国高等学校総合文化祭 和歌山大会

- 放送委員会 8月4日~8月5日 伊都かつらぎ町
□朗読部門
○箏部 7月30日~7月31日 和歌山市
□日本音楽部門
○囲碁部 8月3日~8月4日 那智勝浦町
□男子団体 秋田県代表チーム(男子1名)
○文芸部 8月2日~8月5日 有田市
□短歌部門

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト

- 7月10日~7月29日 事前提出の音声・映像データで審査
○放送委員会
□朗読部門・アナウンス部門・テレビドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門

進路状況

Table showing enrollment statistics for various universities and departments in the 2021 fiscal year.

合格した主な大学一覧

- 国公立大学・管外大学校
北海道教育大学 福島大学 京都教育大学 高崎経済大学
弘前大学 茨城大学 青森県立保健大学 新潟県立大学
東北大学 宇都宮大学 岩手県立大学 都留文科大学
宮城教育大学 埼玉大学 秋田県立大学 長野大学
秋田大学 千葉大学 宮城大学 防衛医科大学校
岩手大学 新潟大学 会津大学
山形大学 金沢大学 前橋工科大学
私立大学
北海道科学大学 秀明大学 東京女子大学 跡見学園女子大学
日赤秋田看護大学 国際医療福祉大学 東京女子体育大学 城西大学
秋田看護福祉大学 神田外語大学 昭和女子大学 デジタルハリウッド大学
東北医科薬科大学 中央大学 明治学院大学 神奈川大学
東北福祉大学 明治大学 拓殖大学 日本歯科大学
岩手保健医療大学 立教大学 工学院大学 名古屋外国語大学
東北学院大学 専修大学 東京造形大学 関西外国語大学
宮城学院女子大学 日本大学 東京薬科大学 大和大学
東北芸術工科大学 東海大学 武蔵野大学
富士大学 東洋大学 文教大学
白鷲大学 学習院女子大学

第三十九回 あげまき講座

コロナ禍のため二年ぶりの開催となったあげまき講座は、創立百二十周年記念事業の一環として、十一月二十二日(月)午後一時半より秋田市文化会館にて、わらび座公演「WALIVE」共鳴、今、私はここで生きていくの鑑賞をしました。

あげまき会支部一覧

Table listing the names of branches and their respective branch heads across various regions.

各支部への入会を歓迎しております。各支部へのお問い合わせや入会申し込み等は、母校事務室(TEL 018-834-1371)へご連絡ください。



激励費の贈呈

あ と が き
コロナ禍により、一年遅れの発行となった第二十九号の新聞「あげまき」は、嬉しいことに明るい話題の詰まった紙面になりました。
母校創立百二十周年記念式典が規模を縮小しながらも無事に開催されたこと・その中であげまき会会長や評議員が表彰されたこと・活発な質問が出た講演会の様子・生徒たちが工夫して実施した学校行事・過去最高の国公立大合格者数や高校総体での活躍ぶりなどを紹介することができました。
新聞編集に携わるメンバーや作業回数を極力減らすなど、コロナ対策をとりながらやっと完成にこぎつけたこの新聞が、同窓生の皆様に、貴重な情報とともに小さな喜びをお届けすることができました。
編集長 三浦 雅絵
◎例年開校記念日の発行ですが、百二十周年記念事業掲載のため十二月にしました。

Advertisement for Akita Castle Hotel, Sanmatsu (三松堂), and Nagatani Kouryuu (長谷駒組).